

平成30年4月27日

国土交通省道路局長

石川 雄一 様

(仮称)小^お高^{だか}スマートインターチェンジの
準備段階調査の早期採択に関する

要 望 書



福島県南相馬市
福島県南相馬市議会
小高商工会
原町商工会議所
鹿島商工会

(仮称)小高^{おだか}スマートインターチェンジの 準備段階調査の早期採択

要望の内容

日頃より、福島県の東日本大震災からの復旧・復興の推進と、高速ネットワークの形成につきまして、格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

特に、常磐自動車道においては、暫定二車線区間の四車線化や付加車線の設置工事などを推進していただき、重ねて御礼申し上げます。

(仮称)小高スマートインターチェンジ(以下、「(仮称)小高スマートIC」)は、浪江ICと南相馬IC間が約18kmと距離が離れていることから、その中間の南相馬市小高区で設置を希望しているものであり、周辺地区では、「福島イノベーション・コースト構想」による復興工業団地(ロボットフィールド)や避難区域解除に伴い再開した工業団地、新たな復興拠点施設の整備が進められております。

南相馬市において策定した、南相馬市復興総合計画に沿った「小高復興アクション・プラン」では、スマートICの整備による「交流促進による地域の活性化」と「企業活動の支援による産業振興」などの効果を踏

また各種施策を掲げ、交流や移住・定住の促進、歴史文化の再発見、企業誘致の推進等の取り組みを進めております。

（仮称）小高スマートＩＣの設置による高速道路の利便性向上により、企業の事業再開の加速化や企業誘致の推進、観光振興による交流人口の拡大など、様々な効果が見込まれることから、製造業者及び観光関係者、地元住民からも大きな期待が寄せられており、当該スマートＩＣの準備段階調査が早期採択されるよう、強く要望いたします。

平成 30 年 4 月 27 日

南相馬市長 門馬和夫

南相馬市議会議長 細田 廣

小高商工会長 平田 廣昭

原町商工会議所会頭 高橋 隆助

鹿島商工会長 澤田 一夫